

品詞分類 総復習

文中の下線が、判定する範囲です。

基礎 | 分類の手順

問1 港には船が並んでいる。下線部の品詞を書きなさい。

品詞

問2 風で旗が揺れる。下線部の品詞を書きなさい。

品詞

問3 峠の朝は涼しい。下線部の品詞を書きなさい。

品詞

問4 係の人が丁寧に説明する。下線部の品詞を書きなさい。

品詞

問5 ボートはゆっくり岸へ近づく。下線部の品詞を書きなさい。

品詞

問6 あらゆる方法を試した。下線部の品詞を書きなさい。

品詞

品詞分類 総復習

文中の下線が、判定する範囲です。

基礎 | 分類の手順（続き）

問7 空は暗い。しかし、まだ雨は降っていない。下線部の品詞を書きなさい。

品詞

問8 「はい、私が担当します。」下線部の品詞を書きなさい。

品詞

標準 | 文の中で判断

問9 資料を並べる。下線部の品詞と、活用の有無を書きなさい。

品詞

活用の有無

問10 明日は参加します。下線部の品詞と、活用の有無を書きなさい。

品詞

活用の有無

問11 それは貴重な資料だ。下線部の品詞を10品詞の中から答え、名詞ならその種類も書きなさい。

品詞

種類

問12 「星が明るく光る。」を単語に分けると「星／が／明るく／光る」となる。付属語を一語抜き出しなさい。

付属語

品詞分類 総復習

文中の下線が、判定する範囲です。

標準 | 文の中で判断（続き）

問13 「雲／が／ゆっくり／流れ／た」のうち、活用する単語をすべて抜き出さない。

活用する単語

問14 美しい模様を描く。下線部の品詞を書き、「名詞を修飾するから連体詞だ」とはいえない理由を説明しなさい。

問15 この時計とこれは同じ製品だ。二つの下線部の品詞を順に書きなさい。

この

これ

問16 「机／の／上／に／新しい／本／が／ある」の中から、体言をすべて抜き出さない。

体言

応用 | 根拠を説明

問17 A小さな種をまく。B小さい種をまく。A・Bの品詞を書き、活用の有無の違いを説明しなさい。

品詞分類 総復習

文中の下線が、判定する範囲です。

応用 | 根拠を説明（続き）

問18 A静かに扉を閉める。 Bそっと扉を閉める。A・Bの品詞をそれぞれ書きなさい。

A

B

問19 A赤い布を選ぶ。 B赤を選ぶ。A・Bの品詞をそれぞれ書きなさい。

A

B

問20 「あの木は高い。」の「あの」と「高い」は、ともに自立語である。この二語を別の品詞に分類する決め手を、活用という語を使って説明しなさい。

問21 「雲が消えた。」を「雲／が／消え／た」と分けた。自立語と付属語をそれぞれすべて書きなさい。

自立語

付属語

問22 「川は静かだった。」について、「静か」は副詞、「だった」は助動詞一語だという分析が示された。この分析を直し、「静かだった」を単語に分けて各語の品詞を書き、活用する語の基本形も示しなさい。

品詞分類 総復習

文中の下線が、判定する範囲です。

応用 | 根拠を説明（続き）

問23 「私／は／とても／穏やかな／海／を／眺め／た」の自立語のうち、活用するものをすべて抜き出し、それぞれの基本形を書きなさい。

問24 「新しい道」と「ある道」の「新しい」「ある」は、どちらも名詞を修飾する。ここでの「ある」は「とある」の意味である。二語の品詞をそれぞれ書きなさい。

新しい

ある

確認テスト | 自力で総点検 | 100点満点

問25〔10点〕 その記録は、観察を続けた成果だ。下線部の品詞を書きなさい。

品詞

問26〔10点〕 観察には根気が必要だ。下線部の品詞を書きなさい。

品詞

問27〔10点〕 私たちは記録を比べた。下線部の品詞と基本形を書きなさい。

品詞

基本形

品詞分類 総復習

文中の下線が、判定する範囲です。

確認テスト | 自力で総点検（続き） | 100点満点

問28〔10点〕 結果は予想より確かだった。この下線部には「確かだ」の活用形と助動詞が含まれる。単語の切れ目を／で示し、各語の品詞を順に書きなさい。

問29〔15点〕 「記録／を／丁寧に／読み／ます」の中から、付属語をすべて抜き出し、それぞれの品詞を書きなさい。

問30〔15点〕 「きっと次は成功する。」の下線部の品詞と、活用の有無を書きなさい。

品詞

活用の有無

問31〔15点〕 「親切な案内」と「あの案内」の下線部の品詞をそれぞれ書き、同じ品詞にしない理由を説明しなさい。

問32〔15点〕 「今日は寒い。しかし、風は弱い。」の「しかし」と「寒い」は、ともに自立語である。それぞれの品詞を書き、前後をつなぐ語を一語答えなさい。